

平成 30 年度 第 1 回
学校関係者評価委員会 信頼される鹿商のための委員会

1 日 時

平成 30 年 7 月 9 日（月） 10:00～11:30

2 場 所

管理・教室棟 2 階 資料室

3 出席者

学校関係者評価委員（6 名）

私立大学講師，元幼稚園園長，前町内会長（下宿主），公立中学校長，同窓会副会長，
P T A 副会長

校内委員（10 名）

校長，教頭 2 名，事務長，教務主任，生徒指導主任，進路指導主任，保健主任，商業科主任，
教務部副主任（記録係）

4 会順及び内容

(1) 委嘱状交付

(2) 学校長あいさつ

(3) 部活動成果発表

バドミントン部，ソフトテニス部，剣道部，柔道部

各部主将から県総体優勝及び九州大会の報告，全国総体等出場の抱負を発表

(4) 学校の概況説明

ア 教務部

イ 生徒指導部

ウ 進路指導部

エ 保健部

オ 商業科

(5) 質疑応答，提言等

5 質疑応答，提言録

- ・ 経営方針と教育方針は校長先生の考えが入っていてよい。
- ・ 他県の人気のある商業高校を参考に魅力づくりをして欲しい。
→ 他校は先を見て対応している。時代にあわせて変化していくように対応していく。

- ・ 昨年までの求人状況をみると県内志向が多い。その要因は何か。
→ 少子化の影響，保護者の意向，行政による人材流出を防ぐ取組等が考えられる。
- ・ 鹿商に行かせたいと思う環境，また安心して寮・下宿を勧められるようにして欲しい（食事など）。
- ・ 生徒の夢実現のため，意欲ある生徒を伸ばして欲しい。
- ・ 就職した生徒で早期離職者はどのくらいいるか。
→ 鹿商生は少ない。そのため求人票を多くいただいている。
- ・ 就職者の職種は製造業が多いが，ズレが生じているのではないか。
→ 高卒で簿記・会計を生かせる求人が少ない。男子事務職の求人が少ない。
- ・ 生徒募集のための取り組みが増えてきてよい。習熟度別学級については向上心がでるような指導をしてもらい，生徒は自覚するようにして欲しい。
- ・ 志望者を増やすには小学校高学年や中学校へのアピールができるようにするとよいのではないか。
- ・ 学校評価アンケートの回収率（89.8％）は毎年このくらいか。
→ 学級PTA時や生徒経由で保護者に渡るようにしてある。離島の生徒へは郵送で対応している。